

陽光桜植樹を今年も50本植樹

平安時代の源頼政「道」を醍醐地域の長尾天満宮で復活

本年も陽光桜の植樹を2月12・13日に実施いたしました。

今年の特徴は長岡京市の公園の中で、自治会が手を上げ、管理をしている高台3号公園は立派に桜公園として地域に知られていましたが、ソメイヨシノが横に枝を伸ばしすぎ隣地にまで入ってしまったので、隣地から苦情が入り止むを得ず伐採する羽目に陥りました。しかし自治会で陽光桜のメリット＝魅力を調べ桜公園に復活することを決め、市の公園緑地課経由で当方に植樹申請が行われ、5本の陽光桜を植樹しました。

植樹後は自治会で管理いただくことになり、地域の公園が自治会のお世話で公園運営されることは理想的な姿です。

又、本年は桜で有名な醍醐寺の隣りに位置する長尾天満宮から3年連続で、陽光桜の植樹依頼を受け、今回は天満宮を横切る歴史街道の「源頼政道」沿い100mに亘って植樹をおこないました。



第1 陽光桜苑



伏見区醍醐 長尾天満宮



長岡京市高台3号公園



源頼政道沿いの植樹作業

源頼政「道」について (歴史街道)

源頼政(1104～80)は、摂津源氏の棟梁で平治の乱(1159)では同族源義朝(1123～60)を裏切り平清盛(1118～81)に味方し、その推挙で従三位となり源三位頼政と称した。治承4(1180)年、以仁王(1151～80)に勤めて平氏追討の令旨を出させ、これを奉じて挙兵したが敗れ、園城寺(三井寺)から南都に逃れる途中宇治平等院で自刃した。この時醍醐から宇治に通じ抜けた山道を頼政「道」と称する。長尾天満宮の石標は頼政道の跡を示すものである。今回長尾天満宮内の頼政道を整備し陽光桜 33本を植樹した。

あなたの知らない京都旅 (BS朝日・2月8日放映)

中村雅俊が出演する上記番組で、柳谷観音楊谷寺の花手水が放映されました。京都の冬の見どころ場所の紹介で、「冬なのにカラフルな絶景場所」のトップに楊谷寺の花手水(右写真)が驚きと感激の表現で紹介されました。楊谷寺＝花手水発祥の地として、この番組を通してさらに全国でも一段と有名になります。花で今年の干支である「龍」の字を浮き上がらせています。現在の花手水はバレンタインデーバージョンです。



楊谷寺花手水

～ 2月の後半行事予定 ～

- 2月17日(土) 柳谷観音縁日 スモークチーズ販売
- 19日(月) 定例作業日
- 22日(月) 理事会 (サポセンにて15:00～)
- 26日(月) 定例作業日

* 定例作業日は3/24お花見ハイキング実施のため、優先的に西山古道の整備点検を実施いたします

(当会のHP) <http://kodou.1jimdo.com>

(FACEBOOK) <https://facebook.com/京おとくに街おこしネットワーク>

●令和6年新企画 会員コーナー

常日頃の当会への思い、行事の思い出、願望、趣味等なんでも結構ですからご投稿ください。このコーナーは持ち回りで運営いたしますので次の投稿者を指名願います。

第4回 随想 山本榮二

NPO法人京おとくに・街おこしネットワークが発足するので、会員にならないかのお誘いがあつたのは、2008年(平成20年)冬も終わりの頃であつたかと思ひます。

丁度バンビオの長岡京市中央学習センターから市内の某自治会への地域の歴史講演を頼まれ、打ち合わせにセンターに行く途中の1階で、「男居場所の会」の世話役の岸本氏から「乙訓の歴史検定合格者」を中心に西山の古道整備と歴史の案内、物産品などのボランティアの会を立ち上げるので、参加しないかのお誘いを受けました。

その時分に中山理事長からもお誘いを受け、参加することにしました。私の会での仕事は、「特産品の開発」で、お饅頭の「タケノコ入りの餅菓子」と「竹づくし弁当」、「筍入り助六寿司」の開発。販売に至りました。中心の活動は、中山理事長が中心で、会員は、販売の経験もなくうろろするばかりで、とにかく理事長の活躍でうまくいきました。

その後、私は膝を悪くし、あまり会への行事に参加できず、申し分けなく思っていました。2015年(平成25年)3月に「再発見京おとくにのかくれた名所旧蹟」の冊子発行に際して、向日市を担当することになりました。

冊子に載せる項目の字数に苦慮しましたが、簡潔に案内できる文章となり、冊子はすばらしいものになりました。冊子の大きさもよく、地図もわかりやすく、現在乙訓の歩こう会や歴史を歩く会などが参考にし、活動されていると聞き及びます。

また、「創立10周年記念 10年のあゆみ」の冊子の編集にも参加でき、会の隅々でも会への役にたっているかなと思っています。

今も、各地で「乙訓の語り継がれてきた物語」の講演をしています。その肩書は「NPO法人京おとくに・街おこしネットワーク会員」として講演をしています。

会の運営が現在までこれたのは、中山理事長と総務全般の林氏が会の運営に対しての中心であり、縁の下の力持ちとして支えられてきた賜物と思います。

これからも、会の発展にすこしでも応援をし、尽くしたいと思います。

*山本会員はKOMO通信NO・94(2012・1・15)に連載を開始した「乙訓の旧蹟シリーズ」の向日市を担当いただき、169号(2015・3・1)まで3年間にわたって調査、執筆をいただきました。この資料をまとめて会として「京おとくにのかくれた名所旧蹟ガイドブック」として出版いたしました。出版にあたってご尽力いただきました。

(次回は 坂昇会員です)

